学校番号	306

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「政治経済」（東京書籍）						
副教材等	「最新　政治・経済資料集　新版」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会のグローバル化が進む今日の世界は、従来、定型的にとらえ、理解してきた政治、経済、社会のしくみそのものが大きな変化に見舞われている社会でもあります。そのような社会において自律した社会人として変化に対応し、また、普遍的な価値を守っていくために政治社会や経済社会の基本的な枠組みやしくみを深く理解することが重要です。そして、その上でそれらの知識や多くの情報を的確に組み合わせ、取捨選択して変化の激しい社会を生き抜く能力を身につける必要があります。そうしたねらいを達成するため、政治・経済は以下のような構成を取って段階的な知識・理解の涵養と民主社会に生きる能力の向上をめざしています。

2　学習の到達目標

①民主主義の本質について理論的・体系的に理解を深めます。
②現代の政治、経済、国際関係などについて客観的に理解するとともに、現実の情勢を主体的に探究する態度を身につけます。
③日本国憲法の基本原理、日本の政治機構などについて理解し、現代の政治の諸課題について考察を深めます。
④「法の支配」の意義について理解を深めるとともに、現実の社会における法の機能について学び、国民の司法参加の意義や課題について考察します。
⑤現代経済のしくみを基礎的な経済理論の観点から理解するとともに、国民経済の動向および、政府の役割と日本経済が抱える課題などについて考察します。
⑥国際社会の現状と諸課題について理解し、国際社会に生きる日本の役割について考察します。
⑦以上の理解や考察を踏まえて、現代社会の諸課題について主体的に考察するとともに公正な判断力を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を身につけます。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○現代の政治、経済、社会、国際関係にかかわる基本的な事項や課題について体系的、総合的に理解し、その知識を身につけているか。 ○現代の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題や重要な課題にかかわる事柄に関する諸資料をさまざまなメディアから収集し、有用な情報を適切に選択・活用することができるか。 ○得られた資料や情報を効果的に活用し、社会の諸問題を探究する学び方を身につけているか。	○現代の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題、人間にかかわる諸課題を考察し、それらの本質や特質、さらには望ましい解決のあり方について広い視野に立って多面的、多角的に考察しているか。 ○社会の変化やさまざまな立場、考え方があることを理解した上で公正に判断しているか。 ○課題についての考察や判断の過程や結果をさまざまな方法を駆使して適切に表現しているか。	○現代の政治、経済、社会、国際関係などにかかわる基本的な問題や課題にかかわる事柄に関心をもち、意欲的に探究しようとしているか。 ○社会的事象を総合的に理解し考察しようとする態度を身につけているか。 ○国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進をはかるため参加、協力する態度を身につけているか。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第1章現代の政治	3節　日本の政治機構 ①国会と立法 ②内閣と行政 ③裁判所と司法 ④地方自治	a:国会、内閣、裁判所などの政治機構にふれながら主権者としての政治に対する関心を高めるとともにそれぞれの役割について理解する。 b:二院制の意義や法律の制定過程、衆議院の優越など国会に関する基本的事項について把握しながら国会の課題についても関心を高める。 c:裁判員制度について理解し、報道資料などから国民の司法参加の意義を考察する。 地方の抱える問題について、各	・発問評価 ・定期考査	・ノート提出 ・レポート作成 ・発表	・授業態度 ・発表

			都道府県の政策資料を読み解きながら考察する。			
		4節　現代政治の特質と課題 ①戦後政治と政党 ②選挙と政治意識 ③世論と政治参加	a:日本の選挙制度について把握しながら、政党や圧力団体の行動とその意義を理解する。 b:選挙結果や投票率の分析・動向などを、さまざまな情報手段を活用して調査し、主権者としての参政のあり方について考察する。 c:マス・メディアの役割と問題点を理解し、世論の果たす役割が大きいことについて理解する。 日本の戦後政治について、政党の変遷を知り、その意義を考察する。	・発問評価 ・定期考査	・ノート提出 ・レポート作成 ・発表	・授業態度 ・発表
		5節　現代の国際政治 ①国際政治の特質 ②国際社会と国際法 ③国際連合の役割と課題 ④戦後国際関係の展開と日本 ⑤国際政治の課題 ⑥地球環境と資源・エネルギー問題 ⑦国際社会における日本の役割	a:国際政治と国内政治の違いや、国際法や国際裁判の意義を理解する。 b:冷戦終結後の国際社会の動向について把握するとともに冷戦終結後の世界が冷戦時代と比べてどのように変化したのか理解する。 c:軍縮や国際平和に関する問題について、メディアを利用して調査し考察する。 国際平和のために日本が貢献できることについて、多角的な視点で考察する。	・発問評価 ・定期考査	・ノート提出 ・レポート作成 ・発表	・授業態度 ・発表

2	第2章　現代の経済	1節　現代の資本主義経済 ①資本主義体制の成立 ②資本主義経済の発展と変容	a:家計・企業・政府が互いにどのように関わりあいながら国民経済を構成しているのか理解する。 b:市場の基本である「需要と供給の関係」について、正しく理解する。 c:国民所得の構成や景気変動、経済成長について、諸資料を利用して、日本と諸外国の現状を比較する。 経済のグローバル化について様々な報道資料を比較し、自分の意見を述べる。	・発問評価 ・定期考査	・ノート提出 ・レポート作成 ・発表	・授業態度 ・発表
		2節　現代経済のしくみ ①経済主体と経済の循環 ②生産のしくみと企業 ③市場経済の機能と限界 ④国民所得と経済成長 ⑤金融のしくみと機能 ⑥財政のしくみと機能 3節　日本経済の発展と産業構造の変化 ①経済再建から高度成長へ ②オイル・ショック後の日本経済 ③日本経済の現状	a:物価の変動要因を理解するとともに、物価の変動が国民経済に及ぼす影響について考察する。 b:金融のしくみや役割、日本銀行の金融政策、金融の自由化などの金融に関する環境の変化を理解する。 c:日本の財政の現状について、報道資料などから調査し、公債残高の膨張が将来に及ぼす影響を考察する。 日本の未来の財政について話し合い、その意義を考察する。	・発問評価 ・定期考査	・ノート提出 ・レポート作成 ・発表	・授業態度 ・発表

		4節　福祉社会と日本経済の課題 ①　公害と環境保全 ②消費者問題 ③農業・食料問題 ④中小企業の現状と課題 ⑤雇用と労働問題 ⑥社会保障と福祉	a:日本の農業が直面している課題について理解する。 b:消費者問題の現状や消費者運動、さまざまな法制度について、諸資料を利用して調査する。c:情報化が政治・経済・国民生活に及ぼす影響や、高度情報社会の課題について理解する。 日本の環境について調査し、環境・公害問題に関する法令を読み解く。	・発問評価 ・定期考査	・ノート提出 ・レポート作成 ・発表	・授業態度 ・発表
		5節　国民経済と国際経済 ①貿易と国際収支 ②国際経済体制の展開 ③発展途上国の経済 ④地域主義の動き ⑤グローバル化する世界経済	a:国際経済に関する基本的な概念や理論を理解する。 b:為替相場のメカニズムについて把握しながら、円高・円安が国内の産業にどのように影響するか理解する。 c:地域的経済統合やFTA・EPAについて感心をもち、諸資料を利用しながら具体的に考察する。 グローバリゼーションにともなうヒト、モノ、カネの国際的な移動が、国際経済に与える影響について、関心を高める。先進国と発展途上国の経済格差や新興国の台頭について把握しながら、日本が南北問題の解決に向けてどのような役割が期待されているか考察する。	・発問評価 ・定期考査	・ノート提出 ・レポート作成 ・発表	・授業態度 ・発表

3	第3章　現代社会の諸課題	1節　日本社会の諸課題 ①少子高齢社会において社会保障はどうあるべきか？ ②地域社会を活性化するにはどうすればよいか？ ③どのようにして若者の労働環境を改善するか？ ④中小企業の活路はどこに？ ⑤どうする？　日本の「食」と「農」 2節　国際社会の諸課題 ①地球環境にやさしいエネルギーをどう確保するか？ ②経済援助は貧困を削減できるか？ ③パレスチナ問題とは何か？ ④地球社会で日本がなすべきことは何か？	＊1節、2節で取り上げられているテーマのなかからいくつかを選択して学習します。 a：現代社会の諸課題について、政治と経済との関連に留意しながら、様々な角度から考え、客観的な立場に立って望ましい解決のあり方を考える。 b:さまざまなメディアや聞き取りなどで調査をする。 c:調査結果をもとに、話し合い・発表・レポート・小論文などの言語活動によって自分の意見を表現する。 憲法の考えに則りながら、人間にとってよい生き方とは何か、安定性と多様性を含めた議論をふまえて考察する。	・発問評価 ・定期考査	・ノート提出 ・レポート作成 ・発表	・授業態度 ・発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度